

昭46-19646

⑩実用新案公報

④公告 昭和46年(1971)7月8日

(全3頁)

1

⑤4トースターのパン位置保持装置

②1実 願 昭43-87530  
②2出 願 昭43(1968)10月7日  
⑦2考 案 者 篠崎功三  
群馬県新田郡尾島町大字岩松80  
0三菱電機株式会社群馬製作所内  
同 新井勝紀  
同所  
同 宇佐見忠  
同所  
⑦1出 願 人 三菱電機株式会社  
東京都千代田区丸の内2の2の3  
代 理 人 弁理士 鈴木正満

図面の簡単な説明

第1図は従来のパン位置保持装置の断面図、第2図はこの考案のパン位置保持装置のパン挿入時の断面図、第3図はパン挿入後の断面図、第4図はその平面図である。なお図中同一符号は同一または相当部分を示す。

考案の詳細な説明

この考案はトースターにおけるパンの位置保持装置に関するものである。

感熱式自動装置を有するトースターにおいてはパンの温度を正確にバイメタルに伝えることができるように、常にパンを一定位置に保持することが望ましい。従来のトースターのパン位置保持装置は、第1図に示すように、パンを載置するためのパン受5に設けた案内孔8に、一端を固定され中央部をく字状に折り曲げ形成した弾性材より成るパン保持用針金7をバイメタル4側に付勢するように挿通し、上記パン受5を下降させることにより焼室6内にパンを送り、かつ上記く字状のパン保持用針金7の頂部でパンを押圧して圧接保持するものであつた。

しかしこの装置による保持方法では、パン保持用針金7を中央部よりく字状に折曲形成しているため、パンを載置したパン受5を昇降させる場合

2

上記パン受5の案内孔8がパン保持用針金7のく字状の頂部を越える時に極端な曲折移動をしなければならず、挿入および排出時における上記パン受5の昇降が円滑に行なわれない欠点があつた。

5 また上記針金7の頂部はパンの厚さ、形状等が異なると押圧する位置も異なり、パンの厚さが大きいとパン受5が定位置まで下降しないうちに頂部で押圧され、その位置にパンが保持されてパン受5のみが定位置に下降することもあり、保持される位置が定まらないなど種々の欠点があつた。

10 この考案は上記のような欠点を解消したパン位置保持装置を提供するものである。

以下この考案を図示実施例について説明する。

第2図～第4図において、1はヒーター取付板

15 2はこのヒーター取付板に取り付けたヒーター、3は上記ヒーター取付板1に取り付けたガード、4はこのガードとヒーター2間に取り付けたバイメタル等の感温装置で、上記ヒーター2、2間に形成した焼室6に近接配置され、所定の温度で作動するように設定してある。5はパン受で、ここには図示しないが引張バネに抗して降下し、引張バネの復元力で上昇するようになつてゐる。7は上記ヒーター取付板1に上端を固定され、下端部にく字状の係止部9を焼室6と離反する方向に形成し、かつ上記パン受5に上記バイメタル4と反対側の焼室6の一方の壁とほぼ同位置に穿設した案内孔8に挿通した弾性材より成るほぼ直線状のパン保持用針金である。しかしてこの保持用針金7は、パン受5を取り去つた状態では第2図仮想線のように焼室6内に張り出すように固定してあり、上記案内孔8に挿通されて自己の弾性変位を規制されているものである。10はパンである。

35 以上の構成において、パン受5にパン10を載せ、トースター本体外に設けたツマミ(図示せず)により上記パン受5を下降させれば、パン10は焼室6内に案内される。一方パン受5が下降するとき、案内孔8はパン保持用針金7を常に焼室6の幅で規制して行くので、パン10は容易に降下する。しかるのちパン受5が上記針金7の係止

3

部9に達すると、焼室6から離反した距離だけ上記針金7は案内孔8を介して焼室6内に張り出すことになる。従つて上記針金7はその弾性により自動的にパン10を押圧し、パン10はバイメタル4側に圧接保持される。そしてパン10が所定温度まで焙焼されると、バイメタル4が作動し、上記パン受5は係止がとかれ、引張バネによつて上昇し取出し位置に自動的に送られる。この場合案内孔8に上記針金7を挿通して上昇するパン受5は、引張バネの力の強い位置で上記針金7の係止部9との係止をとくようにしているからパン受5は十分作動し得る。

以上に述べたようにこの考案は、パン受5に設けた案内孔8に挿通したパン保持用針金7の弾性によつて、上記パン受5上に載置したパン10が所定距離を降下したときに、押圧保持するようにしたものであるから、パン10はいつも一定位置に降下してから押圧されるため置かれる位置が常に一定になり、従つて、パン10の温度を正確にバイメタル等の感温装置に伝えられ、均一な焼面のパンを得ることができる。また所定距離を降下

4

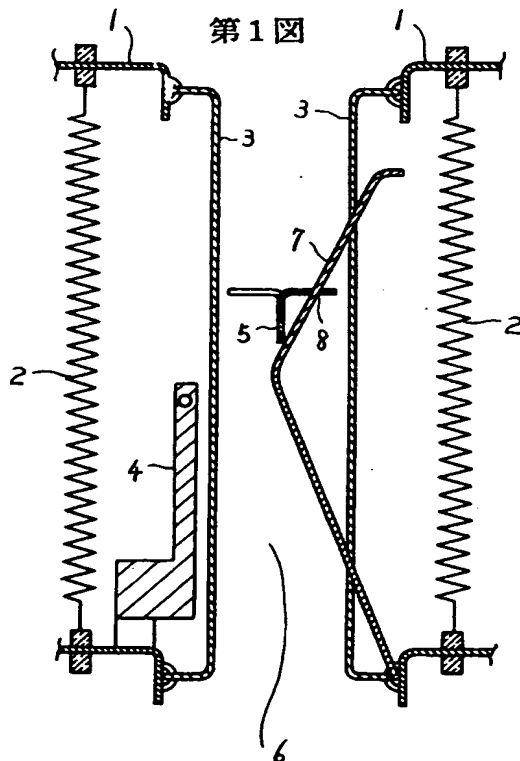
して初めて押圧するものであるから、パン10の厚さ、形状等に関係なく常に定位置に保持することができる。

#### 実用新案登録請求の範囲

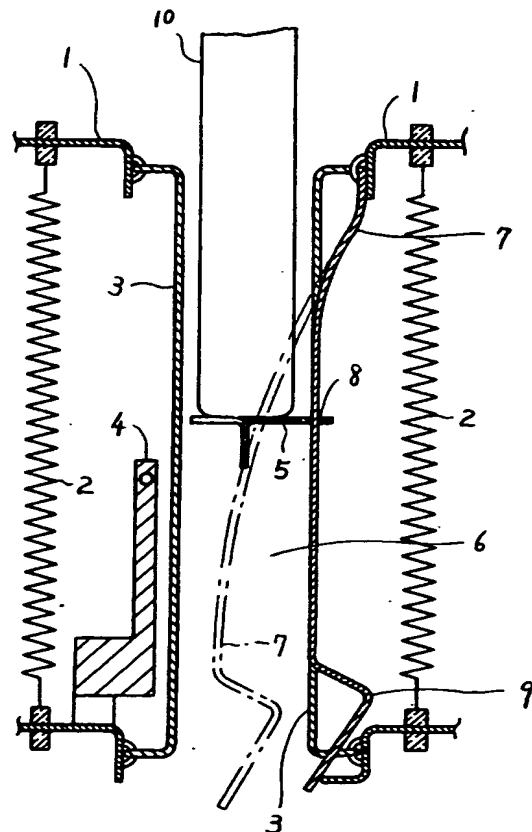
パン受を下降させることによりパンを焼室へ案内し、この焼室に近接配置されたバイメタル等の感温装置によつて上記パンの温度を感知して発熱体への通電を断つか、あるいはパン受を上昇させるようにしたトースターにおいて、上記パン受5に案内孔8を設け、この案内孔に、上端を固定した弾性材より成るパン保持用針金7を挿通し、かつ上記針金7の下端部に係止部9を設けると共に上記パン受5を所定距離降下させた状態で、パン受5の上記案内孔8が上記針金7の係止部9に到達し、上記針金7の復元力によつてパン10を感温装置4側に弾性的に押圧するようにしたトースターのパン位置保持装置。

#### 引用文献

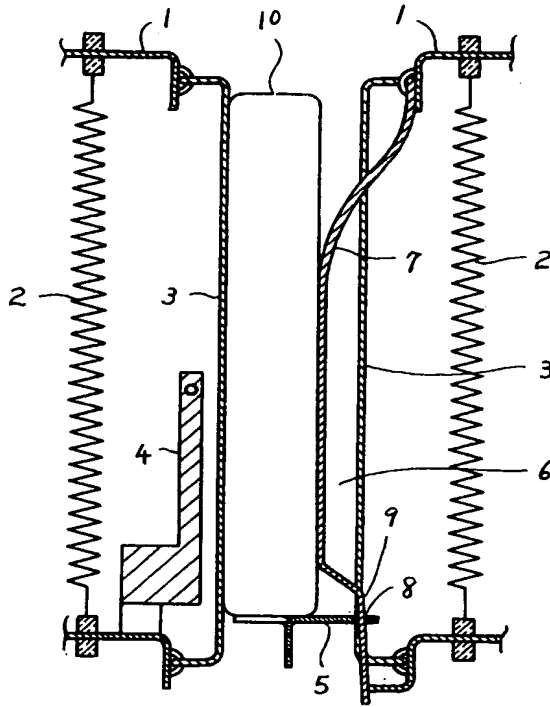
実 公 昭39-24350



第2図



第3図



第4図

